

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成30年8月16日 (2018.8.16)

【公表番号】特表2017-527437(P2017-527437A)

【公表日】平成29年9月21日 (2017.9.21)

【年通号数】公開・登録公報2017-036

【出願番号】特願2017-512802(P2017-512802)

【国際特許分類】

B 0 1 J 35/04 (2006.01)

B 0 1 J 29/76 (2006.01)

B 0 1 D 53/94 (2006.01)

F 0 1 N 3/022 (2006.01)

F 0 1 N 3/035 (2006.01)

F 0 1 N 3/28 (2006.01)

【 F I 】

B 0 1 J 35/04 3 0 1 E

B 0 1 J 29/76 Z A B A

B 0 1 D 53/94 2 2 2

F 0 1 N 3/022 C

F 0 1 N 3/035 A

F 0 1 N 3/28 3 0 1 P

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月4日 (2018.7.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の端面から第 2 の端面へと軸方向に延びるチャンネルを形成する交差壁、及び前記第 1 の端面における前記チャンネルの第 1 の部分及び前記第 2 の端面における前記チャンネルの第 2 の部分のうち少なくとも一方を封止するための活性プラグと、を備え、各活性プラグが、

第 1 の活性成分を含み、該第 1 の活性成分が前記プラグ構造の触媒活性成分及び化学活性成分のうち少なくとも 1 つを含み、前記交差壁が前記第 1 の活性成分を含まないことを特徴とする、多孔質セラミックハニカム体。

【請求項 2】

前記交差壁が、触媒活性成分及び化学活性成分のうち少なくとも 1 つを含む第 2 の活性成分を含み、

前記第 2 の活性成分が、壁面上に配置されている、前記壁の細孔内に配置されている、及び前記壁の構造全体に配置されている、のうち少なくとも 1 つであることを特徴とする、請求項 1 に記載の多孔質セラミックハニカム体。

【請求項 3】

各プラグが、前記交差壁と接触して配置された第 1 の層と、前記交差壁から各チャンネルの軸心の方向に内側に前記第 1 の層上に配置された第 2 の層とを含み、前記第 1 の層及び前記第 2 の層のうち少なくとも一方が前記第 1 の活性成分を含むことを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の多孔質セラミックハニカム体。

【請求項 4】

前記第 1 の端面がフィルタ入口を有し、前記第 2 の端面がフィルタ出口を有し、
前記第 1 の活性成分が複数の活性成分を含み、該複数の活性成分が、
第 1 の温度範囲において活性な、前記入口端における第 1 の温度活性成分と、第 2 の温度範囲において活性な、前記出口端における第 2 の温度活性成分；及び / 又は
第 1 の温度範囲において活性な、前記入口端におけるチャンネルの第 1 の群内の第 1 の温度活性成分と、第 2 の温度範囲において活性な、前記入口端におけるチャンネルの第 2 の群内の第 2 の温度活性成分
を含み、
前記第 1 の温度範囲が前記第 2 の温度範囲の下限より低い下限を有し、かつ、前記第 2 の温度範囲が前記第 1 の温度範囲の上限より高い上限を有する、
ことを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の多孔質セラミックハニカム体。

【請求項 5】

第 1 の端面から第 2 の端面へと軸方向に延びるチャンネルを形成する交差壁を備えた多孔質セラミックハニカム体を施栓する方法であって、
前記ハニカム体に組成物を施して活性プラグを形成する工程を備え、前記組成物が、
活性成分；
粒径分布を有する耐火性フィラー；
有機結合剤；
無機結合剤；及び
液体ビヒクル；
を含み、
前記活性成分が触媒活性成分及び化学活性成分のうち少なくとも 1 つを含み、
前記交差壁が前記活性成分を含まない
ことを特徴とする、方法。